



# 燦さんらん 爛

## 吹奏楽部の新チーム 秋田県アンサンブルコンテスト が大会デビュー 県南地区予選に2グループ出場

12月14日(土)、15日(日)に、大曲市民会館で開催された「第47回秋田県アンサンブルコンテスト県南地区予選」に、本校吹奏楽部から2グループが出場し、サクソフォン3重奏グループが金賞、管打楽器4重奏グループが銀賞を受賞しました。

大会1日目の「中学生の部」には40グループが出場しましたが、35番目に登場した管打楽器4重奏グループは、子どもたちが雪で楽しく遊んでいる光景を描いたという「雪合戦」という曲を軽快に演奏しました。そして中学生の部最後の演奏となったサクソフォン3重奏グループは、ジャズ風の和音やリズムを取り入れた組曲「のっぴきならない虹へ」という曲を楽しく演奏しました。今年は大大会直前に中間テストがあったため、練習時間の確保に苦労したようですが、集中力を高めて練習に励み、本番のステージではどちらのグループもこれまでの練習の成果を十分に発揮できていたと思います。



管打楽器4重奏グループの皆さん



2日目の補助役員を務めてくれた皆さん

また、「小学生の部」「高等学校の部」「一般の部」が開催された大会2日目は、今回出場できなかった部員も一緒に会場系の補助役員を務め、大会運営の裏方としても頑張ってくれました。

## サクソフォン3重奏は来年1月に開催される秋田県大会へ

金賞を受賞したサクソフォン3重奏グループの皆さんは、来年1月に秋田市の「あきた芸術劇場ミルハス」で開催される「第47回秋田県アンサンブルコンテスト」に出場します。今回は県南地区の代表としての出場になりますので、更に演奏に磨きをかけて県大会に臨んでほしいと思います。



サクソフォン3重奏グループの皆さん

### 第47回 秋田県アンサンブルコンテスト県南地区予選 中学生の部 (12月14日(土) 大曲市民会館)

管打楽器4重奏	雪合戦 (下田 和輝)	Euph K . K さん(2年) Trb S . K さん(2年) Trb S . H さん(1年) Perc K . H さん(2年)	銀賞
サクソフォン3重奏	のっぴきならない虹へ ～サクソフォーン三重奏のための3つの小品～ (福島 弘和)	S.Sax M . S さん (2年) A.Sax I . Y さん (2年) B.Sax I . M さん (2年)	金賞 全県大会へ

### 第47回 秋田県アンサンブルコンテスト

会場:あきた芸術劇場ミルハス(秋田市千秋明德町2-52)

日程:令和7年1月12日(日) 10:30～ 中学生の部

13日(月・祝)10:30～ 小学生の部/高等学校の部/  
大学の部/職場・一般の部



# 学校環境衛生検査で 教室環境をチェック

の換気や照度の状況を調べていただきました。

3年生の授業が行われていた教室では、授業開始10分で二酸化炭素濃度が基準値を超えてしまうということが分かり、こまめな換気が必要であることが改めて分かりました。また、照度については、通常は特に問題ないものの、大型ディスプレイ使用の際には、反射防止のために遮光カーテンを閉めることが多く、この状態が長時間続くと照度の面からも換気の面からもあまり好ましくないというご指摘をいただきました。

保健体育委員会では現在、放送による休み時間の換気の呼びかけや廊下側の窓を少しだけ空けておく取組を行っています。市内の学校では、インフルエンザの流行による学年閉鎖等の情報も入ってきておりますが、冬休みを健康に迎えるためにも教室環境の向上を全校で心がけていきたいものです。

12月16日(月)、学校薬剤師さんが来校し、学校環境衛生検査を行っていただきました。この検査は、生徒が健康的で快適な学習環境の中で学校生活を送れるように定期的に行っているもので、この日の検査では、教室内



教室内の二酸化炭素濃度と照度を計測

今週12月19日(木)から来週23日(月)にかけて、本校を卒業した高校生が「教師ミニミニ体験」を行っています。この事業は、秋田大学が行っているもので、将来教職を目指す高校生を対象としているものだそうです。

今回、本校で体験を行っているのは、大曲高校2年生のS. Tさんです。体験に先立ち、2日間の講義を受け、「学習指導案の見方と作成」、「秋田県



2年生の朝の会で自己紹介

教育の特色」、「教師に必要とされる資質・能力について」といったことを学んできたそうです。本校での3日間は、授業参観や給食、清掃、朝の会、帰りの会への参加、音楽の模擬授業体験(授業の中でのワンポイント指導)などを行うことになっています。

今年度は、既に2名の卒業生が本校で教育実習を行い、後輩たちと親睦を深めながら教職の世界を体験しましたが、より歳の近い先輩の来校に、生徒たちも嬉しそうです。短い期間ですが、S. Tさんには教師の立場で久しぶりの中学校生活を味わい、将来に役立ててもらえたらと思います。

## ようこそ先輩 Part3 高校生が 「教師ミニミニ体験」

## おめでとう

令和6年度 人権作文コンテスト  
(法務省 主催)

秋田地方法務局大曲支局長賞 K. K さん(3年)

題名 「差別と向き合う」

「人権作文コンテスト」は、次代を担う中学生に、日常の家庭生活や学校生活等の中で得た経験に基づく作文を書いてもらい、それを通して、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうため、法務省が実施しているものです。

12月18日(水)に、秋田地方法務局大曲支局長さんと地区の人権擁護委員さんの2名が来校され、賞状を授与していただきました。



第41回 全国小・中学生作品コンクール  
(一般財団法人 文民教育協会 子どもの文化研究所 主催)

国語部門 文部科学大臣賞 S. H さん(1年)

題名 「よかったなあ」が繋がる世界

「全国小・中学生作品コンクール」は、全国の小・中学生に自由研究のきっかけと、発表の場を与え、さらに継続研究の楽しさを知ってほしいという趣旨の下、毎年行っているものです。S. Hさんが受賞した国語のほかにも、社会科や理科、英語、プログラミングなどの部門があります。